

教育だよりちば

2023年
(令和5年)
4月号

VOL.130

EDUCATION of CHIBA CITY

●発行：千葉市教育委員会 ●編集：教育総務部企画課 〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 TEL：043-245-5908 FAX：043-245-5990

●「教育だよりちば」は、年4回（4月・7月・10月・1月）発行。HPやスマホアプリでも閲覧できます。

教育だよりちば

検索



令和5年度の教育施策の 主な取組み

新年度予算で取り組む主な事業について紹介します。

2・3面に続く

注目 ライトポート機能の拡充

～全区に小学校専用の教室を開級～

教育支援センター「ライトポート」は、一人ひとりが自分らしく生き生きと活動できる「居場所」です。教科の学習や運動、創作や体験的な活動等を通し、子どもたちの集団生活への適応や社会的自立を支援しています。

本市は、令和4年度から令和6年度にかけて、よりよい不登校児童生徒支援に向けて教育相談事業の整備と拡充を目指しています。令和5年度は、すべてのライトポートに小学生の支援を専門に行う指導員を追加して配置します。

これからの自分
新たな自分
みつけるまじつと
さがせるまじつと



今年度から「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」を目指す「千葉市基本計画」がスタートします。未来を担う子どもたち、そして学びを必要とする全ての人へ充実した学習環境を提供するため、様々な教育施策を展開してまいります。

まず、「学びを支える教育環境の充実」として、学校施設の大規模改造やトイレ改修などを引き続き推進するほか、様々な事情により十分な教育を受けられなかった方などの学び直しを支援するため、公立夜間中学を4月に開校します。

さらに、「学校生活支援の充実」として、別室に登校する児童生徒に対して学習支援等を行う専任の支援員を配置するほか、不登校やいじめなど児童生徒の抱える様々な悩みや不安を解消するため、スクールカウンセラーの配置時間を拡充するなど、個々の状況に応じたきめ細かな支援に向けて取り組みます。

また、「生涯学習の推進」においては、縄文文化とSDGsを学ぶことができる博物館として、特別史跡加曾利貝塚の新博物館整備を進めるほか、千葉開府900年に向けて、本市の歴史への理解促進を図るため、郷土博物館の展示リニューアルに向けた設計の実施、千葉氏に関する史料の調査や発掘調査を行います。

本市で学ぶ子どもたちが心身健やかに、明るい未来に向かって進めるよう、教育委員会と連携しながら教育の振興を図ってまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



千葉市長
かみや しゅんいち
神谷 俊一

目次

P2・P3 教育施策の主な取組み

P4・P5 第3次千葉市学校教育推進計画・第6次千葉市生涯学習推進計画

P6 統合校開校 / 教育委員との意見交換会

P7 アフタースクール拡充 / 給食のレシピ

P8 未来の科学者育成プログラム・科学館料金改定 / 縄文春まつり

千葉市教育委員会